

加藤のコラム

第5号（2015年4月）



みなさん、こんにちは。加藤潔です。平成27年度がスタートしました。今年度もゆいにいられることになり、昨年度は「現場のじゃまだけはしない」という情けない目標で仕事をしてまいりましたが、今年度は「ほんのちょっとだけでもたまには役に立つ」という、これまた情けない決意を固めております。しかし、結果が伴うかどうかがとても心配です。それもまた情けない。今年度もゆいのホームページでは、随時いろいろな発信をしていきたいと考えています。昨年度同様、この意味のない（本当に意味のない）加藤のコラムも性懲りなくまたときおり載るかもしれませんが、ぜひ読まないでください。

さて、年度始めですので、今年度、ゆいが大切にしようと考えていることをお話したいと思います。「地域生活に戻る」というゆいの使命や職員の声を踏まえ、平成27年度の事業計画の骨子を【最前線と最高峰をめざすためのメインの事業、そしてそのために、支援力を上げる・組織力を高める・人間力を磨くという3つの視点（この視点は昨年度を踏襲しています）】から整理しました。

◎「最前線と最高峰をめざして」がんばります（今はまだまだ未熟ですが、まずはめざしてみないと）
ゆいではいろいろな人が生活していて、それぞれにいろいろな困難を抱えながら生きています。その意味でゆいは確かに最前線と言えます。最前線でありながらも最高峰でありたいというのが私たちの願いとしてあり、そのひとつが「地域生活に戻る」人を送り出すことです。次々にグループホームができる状況にはなかなかならないのですが、ここはやはりゆいの頑張りどころです。

ちなみにこの4月、「地域生活に戻る」人たちが4名いらっしゃいます。それに続く人たちをなんとか送り出したいと思っています。そのためには、「いつでも地域生活に戻れる」ように、ゆいで何をすべきかの再整理もしたい（新作業メニューや日中活動の充実も含めて）と考えています。

○「支援力を上げる」ようにがんばります

昨年度からチーム支援のテーマを決めて、チームカアップに取り組んできました。今年も継続発展です。また、外部研修や法人内事業所の実地研修への派遣なども可能な限り行い、外での学びをゆいに還元してもらうようにします。内部研修としては、ゆい塾を今年度4回計画しています。メニューも拡大しながら、昨年度とは一味違う内容にしていこうと思っています。

○「組織力を高める」ようにがんばります

いい組織はいい支援を展開できる可能性が高まります。あちこちで短時間であってもケースカンファが開かれているような、新人職員を支える先輩バディがいるような、チームリーダーやサブリーダーが自覚と誇りをもってチームを引っ張っているような、そして何よりも余暇企画がとても楽しい組織をめざします。

○「人間力を磨く」ようにがんばります

いい人間はいい支援ができる可能性が高まります。社会人としてのマナーアップ、ゆい内の人権強化週間や強化月間の設定などを通して、個々のスタッフの人間力を磨いていけたらと思っています。いつの日か、「ゆいバリュー（ゆいとして大事にしたい考え方や振る舞いについて整理したもの）」なるものをつくりたいと考えていて、そのスタート年になればという願いをもっています。

先日、つくく♂さんが母校である近畿大学の入学式で声帯摘出をされたことを堂々と発表されました。自分が同じ立場になったらどう振る舞えるだろうかと考えると、たぶんグジグジしてひがみっぽくなって病気のせいばかりにしてしまうような気がします。

「人間力を磨く」ことの必要性を強く強く感じました。がんばります。